

## 令和4年度 入学式 式辞

新入生のみなさん、おはようございます。

良い声ですね。これだけ、いいご挨拶ができるのならば、みなさんは今日から立派な大隅西小学校の1年生ですね。新入生のみなさん、ご入学まことにおめでとうございます。

皆さんの入学をお祝いするかのように、校庭の桜のお花も満開となっていました。

校長先生をはじめ、このあと発表する担任の先生、学校のすべての先生方が皆さんの入学を心待ちにしていました。そしてなにより2年生から6年生のお兄さんや、お姉さんたちも、1年生が入学することを、ずっと待っていました。みなさんが座っているイスをそろえたりや、この講堂をお掃除してくれたのは6年生のみなさんなんですよ。

さて、新入生のみなさん、校長先生から質問を1つします。「小学校は、何をすることでしょうか？」

給食を食べたり、運動会や遠足など楽しい行事もありますが、一番は「勉強」するところです。

そこで勉強と聞くと、「大変だなあ」と思う人がいるかもしれませんが、実はそれほど大変ではありません。なぜなら、本当は勉強は、とっても楽しくておもしろいものだからなのです。

それでも、大変そうに思う人がいるかもしれません。そこで、今日は皆さんの入学のお祝いに、校長先生が特別に、勉強が楽しくなるコツをお教えますね。よく聞いておぼえてください。

お勉強していると、必ずわからならない

ときがでてきます。そんなときに、どうしたらいいと思いますか？

そう、わからないときは、「わからない」と言うのです。校長先生は今までたくさん子どもをみてきました。お勉強が大好きという子どもは、みんなこの「わからない」をたくさん言っていました。

でも、「わからない」というだけではだめなんですね。そのあとに、ある四文字の言葉が言えるかどうかが大切です。何と言えればいいと思いますか？

そう、「わからない」のあとには、お友だちに「教えて」というんです。

こうやって、お勉強というのは、ひとりではなく、おともだちと助け合ってやっていくものです。

じつは、この講堂に「助け合う」と大きく書いてあります。どこでしょう。

そう漢字なので難しいかもしれませんが、あそこに大きく「助け合う」と書いてあります。あの3つの言葉は大隅西小が大切にしている言葉なのですよ。

わからないときには、正直に「わかりません。」そして先生やまわりのお友だちに「教えて」と言いながら助け合って学んでいけば、勉強はとても楽しく、おもしろくなります。よく覚えておいてください。

それでは、校長先生は今から、おうちの人にご挨拶をしますので、少しの間静かに待っていてください。

新入生の保護者の皆様方、お子様のご入学、誠におめでとうございます。皆さんの大切なお子様を6年間お預かりしまして、しっかり勉強の基本、人としての基本などを教職員一同、責任を持って丁寧に教育してまいりますので、高いところからではございますが、どうぞよろしく願い申しあ

げます。

なお、学校教育において、保護者の皆様方との連携は欠かせないと考えております。おわかりになりにくことやご不明なこと、悩まれていることなどございましたら、お気軽に学校にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

また、3年前より新学習指導要領がスタートしております。今までは教師が教えることが授業の中心でしたが、これからは子どもが学ぶことが授業の中心に移ってきております。そのため授業のスタイルなども大きく変わりつつありますので、この点におかれましても、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、蔓延防止法は解除されておりますが、まだまだ予断は許されない状況です。感染予防のために、消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの確保など、万全の体制で学校教育を進めておりますので、何卒ご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。

子どもたちが1日も早く、学校に慣れ、そしてしっかり学び合えるよう、全力取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。入学の式辞と結びます。

では、1年生の皆さん、とても静かにお話が聞けましたね。立派でした。

なお、新型コロナウイルスがはやっていますので、学校やおうちでも、しっかりうがいや手洗いをしてください。お願いします。

そして明日から「わからへん、教えて。」が言えるように、がんばっていきましょう。これで入学式のお話といたします。